



とむらかつゆき 戸村勝幸県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

佐原病院本館

32年度中に耐震工事完了へ



2月議会の壇上に立つ戸村県議

2月県議会一般質問に登壇

耐震改修の内容

戸村議員 県立佐原病院は、新館と南館が新耐震基準で建てられているのに対し、本館は旧耐震基準で建てられています。本館は、かねてから耐震性の不足が指摘され、県有施設の耐震化プログラムでも、平成32年度を目標として耐震改修を進めることとされています。本館の耐震改修は喫緊の課題

自民党の戸村勝幸(とむら・かつゆき)県議は、2月定例県議会の一般質問に登壇し、香取市及び香取郡地域の政策課題を幅広く取り上げ、森田知事ら県当局の考えをたどりました。この中で老朽化が指摘されている県立佐原病院の耐震改修工事について、県は「31年度から工事に着手し、32年度中の完了を予定」と明確に完成時期を明らかにしました。

また、森田知事は、戸村県議の農業分野における労働力不足の指摘に対し、新たな雇用を行う農業者への支援策を約束しました。地域の道路問題など戸村県議の主な質疑を特集しました。

農業分野の労働力確保を訴え！

最小限に抑えることを前提として、佐原病院と打ち合せて、実施設計に取り組みできたところです。

工事期間中は、騒音や振動等による患者への負担が少しでも軽くなるよう十分配慮するとともに、工事の進捗に合わせて本館の一部機能を南館に移転するなどの対応により、可能な限り診療機能を確保してまいります。

佐原病院は、平成32年度を目標に耐震改修を完了すると伺いました。ぜひとも香取地域の中核病院として頑張ってください。

農福連携の優良事例

戸村議員 県内の農業者からは、高齢化や担い手の減少により、農業分野での労働力不足がますます進んでいると聞いています。本県農業をさらに発展させていくためには、多様な人材の活用による雇用労働力の確保することが重要になってくると考えます。そこで伺います。農業分野の労働力確保にどう取り組んでいるのか。

森田知事 農業の担い手の高齢化と減少が進む中、雇用労働力を確保していくため、県では研修会の開催や中小企業診断士などの専門家の派遣等により、農業者の労働管理能力の向上を図り、農業現場での労働環境の改善を行っています。

また、今年度からは新たな在留資格に関する国の動向や、農福連携など県内外の優良事例等も参考にしながら、市町村やJAなどの関係機関とともに、地域の実情にあった労働力の確保に向けた検討をしているところです。

さらに来年度は、就業規則や労働保険などの雇用条件を整備改善した上で、新たな雇用を行う農業者への支援を行うこととしています。

新たな支援策を多くの農業者や関係者に周知し、本県農業の労働力確保につなげるよう要望します。

農業でのドローン活用

戸村議員 農業分野におけるドローン活用に向けた県の取り組み状況はどうか。

森田知事 農業分野において、ドローンは今後も利用の拡大が期待されています。

●県政と香取地域に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

戸村勝幸 県議事務所

〒287-0003 香取市佐原イ4187-3 2階
TEL0478-79-7650 FAX0478-79-7651



要望 農業者が利用しやすい、コスト削減が図れるよう、ドローンの活用について積極的な推進を要望します。

さらに、今後はドローンで撮影した画像の生育データを用いて、良食味で貯蔵性のよいサツマイモを判別する技術や、水稲への適切な施肥方法などの研究開発を進めることとしています。

地域の道路問題など取上げ

国道356号整備の重要性訴え

津宮小見川間の着手

戸村議員 観光・交流の面から、更なる地域活性化を図るためにも、圏央道へのアクセス道路となる国道356号の整備はますます重要だと考えます。そこで伺います。

国道356号香取・東庄間の未事業化区間の検討状況はどうか。

県土整備部長 国道356号は、圏央道神崎インターチェンジと銚子市方面を結ぶ重要な幹線道路であり、

要望 香取・小見川間をぜひ事業着手していただくよう要望します。

多古栗源バイパス

戸村議員 県道多古栗源線バイパスの今後の見通しはどうか。

県土整備部長 県道多古栗源線の県道多古笹本線から多古町道八田線までの現道は、近隣の小中学校の通学に使用されているところ

ています。今後とも多古町と連携を図りながら、事業の推進に努めてまいります。

無電柱化の進捗状況

戸村議員 県道佐原山田線の香取市佐原イ地区における無電柱化の進捗状況はどうか。

県土整備部長 同地区は、街並みが伝統的な建造物群保存地区に指定されており、周辺を散策する観光客が多い地域ですが、電柱が景観を損ねている状況にあります。

要望 地元では早期完成を確保し計画的に事業を推進していただくよう要望します。

圏央道の4車線化

戸村議員 圏央道の県境から大栄間の4車線化について、現在の状況はどうか。

県土整備部長 県としては、圏央道の効果をより一層高めるとともに、安全で円滑な交通の確保や防災力の向上を図るため、県境から大栄間の早期4車線化が必要だと考えています。

要望 県境・大栄間の4車線化が着実に進むようお願いします。また、神崎インターチェンジに近接する道の駅「発酵の里こうざき」の整備に合わせ、周辺への休憩施設の設置が進むよう、県にも協力をお願いします。

成田空港の周辺対策

戸村議員 成田空港の更なる機能強化に係る空港会社の取り組み状況と、今後のスケジュールはどのようなものか。

総合企画部長 昨年3月の四者協議会で合意された、更なる機能強化策の実施に向け、新たな滑走路整備などの事業着手や、騒音対策をはじめとする環境対策の実施、発着回数50万回を前提とした周辺対策交付金の交付等を開始するには、まず、国

要望 まずは、速やかに事業が着手され、周辺地域の発展への取り組みや騒音対策などの環境対策を関係機関で連携して実施していただきたいと思います。

農村地域の防災対策

戸村議員 土地改良事業による農村地域の防災・減災対策について、現状と今後の進め方はどうか。

農林水産部長 土地改良事業により整備された水路や排水機場などは、農業の生産性向上だけでなく、農村地域における水害防止などの地域防災にも寄与しており、現在、県では

○6地区で湛水被害から農村地域を守る事業

○8地区で老朽化した農業用ため池を改修する事業

○13地区で地すべり被害から農地などを守る事業を実施しているところです。

要望 国が防災・減災・国土強靱化のため

を推進していただくよう要望します。

戸村議員 県

におけるアルコール健康障害対策推進計画の策定状況と今後の取り組みはどうか。

健康福祉部長 県では現在、医療関係者、酒類販売者など幅広い関係者の参加をいただき、今年度末を目途に「アルコール健康障害対策推進計画」を策定しているところ

アルコール健康障害

です。計画案では、飲酒に伴うリスクに関する知識の普及や、アルコール健康障害の予防及び相談から治療、回復支援まで切れ目のない支援体制の整備を重点に置き、具体的な施策の方向性を示しています。

計画策定後は、計画を推進するための組織を設置し、進捗管理と具体的施策を提言いただきながら、計画の着実な推進に努めてまいります。

議場の自席から再質問する戸村県議



現在、この区間の4車線化は2024年度までの供用に向けて東日本高速道路株

戸村県議の質問項目

- 1 農業問題について
- 2 ドローンの活用について
- 3 防災・減災・国土強靱化について
- 4 アルコール健康障害対策について
- 5 県立佐原病院について
- 6 香取合同庁舎の長寿命化について
- 7 成田空港について
- 8 道路問題について
- 9 その他